

Dさんがなくした物

仕事を取り合って言い争いをするくらいに、お仕事大好きなDさんが退院後「花風屋」に復帰することを待ち望んでいたのはスタッフのみならず、下宿人やミニデイ利用者すべての人でした。

私は、事あるごとに「Dさんがいてくれたら、もっと仕事はかどるのにね」「そんな雑な仕事すると、Dさんが復帰したらチェックが入るよ。テールたいて、怒つちゃうんだから」「この音楽聞いたら、きつとDさん踊るよね」など、仲間であるDさんを忘れないように、復帰の時には大喜びしてもらえるように、みなさんに話し掛けていました。

私も、四度の入院を繰り返して職場復帰するたびに、職場の仲間迷惑を掛けたにもかかわらず大歓迎してくれて、「私の居場所がちゃんと残っていた」と、安心したものです。Dさんには、下宿のほかにもう一つ居場所があるんだと安心してもらい、入院前と同じようにとはいかなくても元気になるってほしかったのです。

ところが、期待が裏目に出てしまいました。タオル畳みはどうにかできるようになりましたが、それ以外は「できない。できない」と言い、何度お願いしてもしてくれようとはしません。そして、体を半分折つての居眠りが始まります。それなら、大好きな歌を歌ってもらおうと、「三百六十五歩のマーチ」を歌いませんか？と話し掛けると「そんな歌は歌えませぬ」「しかられては、どうですか？」

「Dさんがいてくれたら、もっと仕事はかどるのにね」「そんな雑な仕事すると、Dさんが復帰したらチェックが入るよ。テールたいて、怒つちゃうんだから」「この音楽聞いたら、きつとDさん踊るよね」など、仲間であるDさんを忘れないように、復帰の時には大喜びしてもらえるように、みなさんに話し掛けていました。

私も、四度の入院を繰り返して職場復帰するたびに、職場の仲間迷惑を掛けたにもかかわらず大歓迎してくれて、「私の居場所がちゃんと残っていた」と、安心したものです。Dさんには、下宿のほかにもう一つ居場所があるんだと安心してもらい、入院前と同じようにとはいかなくても元気になるってほしかったのです。

ところが、期待が裏目に出てしまいました。タオル畳みはどうにかできるようになりましたが、それ以外は「できない。できない」と言い、何度お願いしてもしてくれようとはしません。そして、体を半分折つての居眠りが始まります。それなら、大好きな歌を歌ってもらおうと、「三百六十五歩のマーチ」を歌いませんか？と話し掛けると「そんな歌は歌えませぬ」「しかられては、どうですか？」

花風屋繁盛記

連載27

人と人がつながって



NPO法人在宅生活支援サービスホーム花風

木村美和子理事長

思っている物を取り戻して行つて、すには、伴走してくれ、大きくて一人で切るペースメーカーが必須だと考えた途端に、要だと思えた途端に、最適任者を思い付きました。七十代の本間スツフです。彼女自身、たくさんの喪失体験をしたであろうに、愚痴を言うどころか、その体験を人への思いやりに変えているような人です。早速、勤務日にDさん

「大きくなって一人で切るペースメーカーが必須だと思えた途端に、最適任者を思い付きました。七十代の本間スツフです。彼女自身、たくさんの喪失体験をしたであろうに、愚痴を言うどころか、その体験を人への思いやりに変えているような人です。早速、勤務日にDさん

「大きくなって一人で切るペースメーカーが必須だと思えた途端に、最適任者を思い付きました。七十代の本間スツフです。彼女自身、たくさんの喪失体験をしたであろうに、愚痴を言うどころか、その体験を人への思いやりに変えているような人です。早速、勤務日にDさん



「亀が歌えば鶴は踊り」と「目出度節」。ちどりが歌い、復活Dさんが踊った。最高！

「Dさんが得た物」

「Dさんが得た物」

「Dさんが得た物」

「Dさんが得た物」